

「これからの時代に必要なこと」

校長 安藤 徹



今年も残すところあと2か月・・・校長室にある月毎のめくりカレンダーもさびしくなってきました。いつの間にか、岩戸支援学校の2学期も後半を迎えましたが、今月には2年生の実習期間が予定されており、すでに終了しましたが、10月には3年生の大切な実習期間もありました。



校内・現場問わず実習を経験した生徒のみなさんには今回の貴重な機会を通じて「働くことの①大切さ②たいへんさ③喜び」このような3つの側面を少しずつでもよいので感じてくれたら良いといつも思っていますが、どうでしたか？

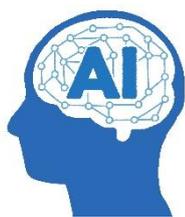
ところで、みなさんの中には学校で友だちと一緒にすごし、家に帰ってからも SNS などと同じような友達とつながりっぱなし、そんな毎日を過ごしている人も多いのではないのでしょうか？

たしかに友だちは学校生活やこれからの人生においてもとても大切な存在ですし、仲の良い友だちをたくさん持つことはもちろんいいことだと思います。



ただし、直接会ったり、または自宅にいながらの SNS 上であったとしても、友だちと一緒に過ごす時間があまりにも長くなりすぎると、①学校と家での「on/off」の切り替えがしにくくなり、自宅にいてもいつも学校にいるときと同じような緊張感や感情等が継続してしまうことがあったり、②周囲の友だちの意見や行動に合わせることで当たり前になってしまい、自分で物事を考えにくくなってしまうというようなマイナス面もあるのではないかと考えています。

ですので、そうなることを避けるためにも大事なことは、「時には自分一人だけで考える時間を意識的に持つ」ことです。自分が将来どんな仕事をしてみたいのか、どんな社会人になりたいのか・・・についてもそうです。友だちに言われたから、先生に言われたから、保護者の方に言われたからではなく、「自分のこれからの人生」について少しでも自律的、主体的に考えることが大人の仲間入りにもつながるのではないかと考えています。



話は変わりますが、これからの社会やこれからの私たちの仕事のあり方を大きく変える可能性があるものとして最近よく話題に上がる「AI (Artificial Intelligence 人工知能)」。

みなさんも一度は耳にしたことがあると思います。人間の脳の働きによる知的な行為を、コンピュータを使って再現する技術のことを指します。

そして、このAIをはじめとする世界の科学技術の発展の速度はすさまじいものがあります。

10年位前のあるレポートによると、今後数十年のうちに日本の601種類ある仕事のうち近い将来AIやロボットなどによって自動化される可能性が高い職種が49%になるだろうという報告が出ていました。その報告が出されてから約10年、その報告の信ぴょう性というか現実性はかなり高くなってきていると思います。

そして、AIなどが世の中にますます広まっていくこれからの時代に、私たち人間に求められるのは「共感力」だといわれています。「共感力」というのは相手と自分の気持ちを通じさせる力、そして相手のことを考えて行動できる力のことです。AIは決められた業務や課題を指示通りにすることや、プログラム化やマニュアル化されたものを忠実に実行することはできます。しかし、相手の感情や要求を正確に読み取ることはできません。どんな時代でも、相手の気持ちを考え、高い共感力を持つことは重要なことだと思います。

令和6年11月1日